

## 指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成20年度事業分)

施設名		山梨県立科学館				
指定管理者		財団法人 山梨県青少年協会		所管課	社会教育課	
指定期間		平成18年4月～平成21年3月				
施設の使命・役割(運営目標)		県民の科学に対する関心を高めるため、常設展示・企画展などにより科学をわかりやすく紹介し、科学のあり方を考えていく場を提供すること 主催事業の実施を通じて、常設展示等では十分に紹介できないテーマ等について、わかりやすく紹介し、科学への理解を深める機会を提供すること 小中学校・高等学校等と連携し、理科教育をより専門的、効果的に行うための学校教育を支援すること				
指定管理者が行う業務		利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 施設の利用に関する必要な助言、指導等に関する業務 科学に関する展示及び講演会、催し等の実施に関する業務 その他教育委員会が必要と認める業務				
維持管理業務の評価		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容		
		・計画書に基づき適正に管理した。		・概ね計画に基づき、適切に実施されていた。 ・保守点検漏れのないよう注意すること。		
運営業務の評価		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容		
		・計画書に基づき適正に実施した。 ・時間外の天体観測はスターライトツアーの他に科学館のPRも兼ねて出張観望会を積極的に行い人数を伸ばした。 ・ライトダウン甲府パレー・サイエンスカフェ・星つむぎの歌関連イベントが昨年度に引き続き全国的话题となった。 ・体観測室での太陽の観測は、少しでも晴れ間があれば実施するようにした結果、利用者増につながった。 ・学習利用回数は、目標値に達した。		・概ね良好に運営業務が執行されていた。 ・主催事業については、計画書以上の成果をあげた事業もあり、良好であった。 ・引き続き事業計画書等に沿った適正な業務執行に努めること。		
自主事業の評価		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容		
利用者満足度調査	調査結果	満足度		利用者の声		
		「館内設備・プログラム」での満足度 ・展示室 98% ・実験室 98% ・工作室 98% ・あそびの部屋 97% ・サイエンスショー 99% ・天体観測室 94% ・プラネタリウム番組 95% ・全周映画 93% ・その他 98% 「館全体のサービス」の総合満足度 非常に満足 46.53% 満足 50.90% やや不満 2.52% 非常に不満 0.05%		・新しい展示が見たい、壊れている展示を直してほしい。 ・展示室の説明がわかりにくい、説明スタッフがほしい。 ・料金が高い、割引料金の設定。 ・持ち込みで飲食できるスペースが欲しい。 ・聴覚障害児への配慮(映画等の字幕)がほしい。		
	評価	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容		
		・料金、休憩・飲食スペースについては、検討課題である。 ・アルバイト、清掃員等の対応については、指導改善した。		・満足度評価値は97%を超え、非常に高く良好であった。 ・ソフト面での意見等は、積極的に検討し、より充実したサービスを提供していくこと。 ・ハード面での意見等は、集計分析を行い、今後の検討資料とすること。		
利用実績	利用者数	H19年度実績(人)	H20年度計画(人)	H20年度実績(人)	H21年度目標(人)	
		145,196	141,400	134,602	145,200	
	評価	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価・指導内容		
		・入館者目標141,400人に対し、134,602人(6,798人減・4.8%減)となった。 ・時間外の天体観測はスターライトツアーの他に科学館のPRも兼ねて出張観望会を積極的に行い人数を伸ばした。 ・利用者傾向としては、7～8月の特別展の満足度は高かったが入場者数は減少しているのが全体の利用者数の減少につながっている。今後の集客方法に課題を残している。		・夏季特別展が大型観光キャンペーンと連動して行われるなど集客が好調であった19年度と比べ、利用者(入館者)数は減少した。 ・業績が好調な取り組みを継続すると同時に、低調な事業内容の見直し等を行い利用者の増加に努めること。 ・引き続き事業計画書等に沿った適正な業務執行に努めること。		
収支の状況	科目	H20年度計画額(円)	H20年度実績額(円)	差額(計画額-実績額)(円)	H21年度計画額(円)	
	収入	利用料金収入	38,405,000	37,289,000	1,116,000	41,013,000
		指定管理料	346,533,000	346,533,000	0	349,922,000
		その他収入	5,454,000	7,103,000	-1,649,000	5,139,000
		計	390,392,000	390,925,000	-533,000	396,074,000
	支出	390,392,000	390,801,000	-409,000	396,074,000	
差し引き(収入-支出)	0	124,000		0		
	評価	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		
		・夏期特別展の利用者減による利用料金の減少があった。 ・売店等事業収入については、利用者のニーズにあった商品を置いたため、収入増が図られた。		・夏季特別展が大型観光キャンペーンと連動して行われるなど集客が好調であった19年度と比べ、20年度は利用料金の減少がみられた。 ・事業内容の見直しや経費削減等経営努力を行い、収入増を図ること。		
施設の運営目標の達成状況		運営目標4項目中1項目は目標値を上回った。その他の項目についても、概ね目標を達成した。 入館者数 目標値141,400人 実績値134,602人 プラネタリウム観覧者数 目標値45,200人 実績値43,661人 主催事業参加者 目標値66,900人 実績値64,158人 学校利用回数 目標値320回 実績値322回 (利用者人数実績 16,339人)				
総合的な評価及び改善事項		利用実績については、前年度を下回ったものの、指定管理者の運営努力により目標値との大きな乖離はみられない。開館当時の展示のままである現状では、これ以上の向上を見込むことは難しいが、各種事業とも内容等の改善に努め、入館者数の増加に努めること。 維持管理業務・運営業務については、適正に実施されている。引き続き、業務の確認・改善に努めること。 利用者満足度調査については、評価(満足度)が良好である。引き続き、業務の確認・改善に努めること。				